

イントラロックス正逆運転スパイラル&テーブル： 製缶向けアキュムレーションソリューション

製缶ラインにおいて搬送品アキュムレーションを十分確保することは、処理能力と装置の効率の両方を大幅に向上するうえで非常に重要です。いずれかの製缶ラインで障害が発生したとしても、残りのラインで製造を継続できます。また、ライン下流で障害が発生した場合に、ウォッシャーやオープンに缶が残らないようにできれば、損傷が防止されます。

イントラロックスでは、生産ラインから一旦離れてアキュムする、オフラインでのアキュムレーションを最適化したいと考えているメーカー向けに、スパイラルとテーブルの2つの正逆運転ソリューションをご用意しています。正逆運転スパイラルは、製品の変更に伴う稼働停止時間を最小限に抑えるとともに、予期せぬ稼働停止時間の発生も防ぎます。また、機械のアイドルを回避して背圧をかけないことで、溜まった缶を守ることもできます。実際、ある製缶工場で、56,000個の缶を処理できるIntralox®スパイラルを導入したところ、機械を起動および停止する回数が減り、処理能力が3%向上し、損傷が0.2%削減されました。



正逆運転スパイラル

- 小さな設置面積でアキュムレーション能力を向上
- 光熱費を抑えられる(バキューム式エレベーター搬送による、中二階構造のアキュムレーションテーブルとの比較)
- 缶への背圧を解消し、缶への損傷を防止

正逆運転テーブル

- 中二階構造のレベルで位置合わせができるため、設置面積を節約
- 多くの場合において事前のコストを抑制(スパイラルとの比較)
- 世界の製缶工場で広く導入

イントラロックスの正逆運転スパイラルとテーブルで、お客様の既存のラインと今後導入するラインのアキュムレーション能力を向上できます。詳しくは、[イントラロックスカスタマーサービス](#)にお問い合わせください。